

左近山中だより

令和5年 9月25日
横浜市立左近山中学校
校長 神林 康之
No.6



さくら教室に行ってきました！

副校長 馬越 秀夫

9月9日(土)、左近山ショッピングセンター入口にある「ほっと・さこんやま」(みなさんがポロシャツを購入するところ)でおこなわれた「さくら教室」へ行ってきました。左近山中学校から歩道橋を渡り、降りたところの左前方に「ほっと・さこんやま」があります。

中に入ってレジの前を通ると右手に階段があり、その階段を昇った

2階に「さくら教室」があります。

ここでボランティアをしてくださる

のが、横浜国立大学のボランティアサークル「サコラボ」の学生の方です。その代表である竹中美裕(たけなか みひろ)さんから、左近山中学校のみなさんへメッセージをいただきました。

『「さくら教室」では、勉強を教えてもらうだけでも、勉強方法を教えてもらうだけでもOKです。それだけではなく、進路(将来)の相談をしてくれてもいいです。中学生は大学生とあまり関わる機会がないので、私たちがうまく利用してください。また、2時間(14:00~16:00)全部でなくても、少しの時間でもいいので、気軽に来てください。』

ところで、横浜国立大学のボランティアサークル「サコラボ」って何だかご存じですか？

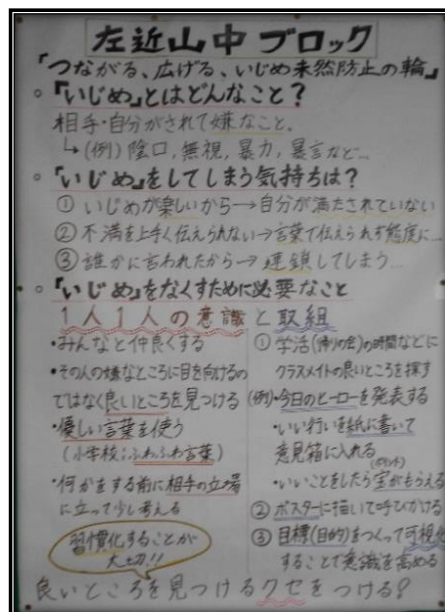
なんと「(さ)こんやま(コ)ラ(ボ)レーション(協力・協働・援助)」の略で、「サコ ラボ」と言うそうです。大学のサークルの名前の由来が、みなさんの住んでいる「左近山」にあったなんて、本当に素敵だと思いませんか？



横浜子ども会議 旭区交流会

8月30日(水)、保土ヶ谷公会堂にて「横浜子ども会議 旭区交流会」が開催され、本校の生徒会本部役員の2名が代表として参加してきました。旭区の全11校が集結し、それぞれの中学校ブロックでテーマに沿った話し合いの内容や学校ごとの活動・取り組みについて発表し合うものです。各校、模造紙にまとめたり、スライドにしたりと工夫を凝らしていました。本校も右のように話し合いをまとめ、左近山小学校の代表児童と共に、自分たちの言葉でしっかりと発表することができました。全体の司会も務め、とても落ち着いてできていたこと、また、時間変更や原稿の変更・修正にも臨機応変に対応できたことに対し、他の学校の先生からお褒めの言葉をいただくほどでした。この「横浜子ども会議」は毎年行われていますが、今年度からテーマが変わり、生徒会としても新しい取組を始めていこうとしているところです。小学校と連携を図りながら、自分たちが目指す学校作りのために、できることを一つずつ積み重ねてほしいと思います。

(特活担当)



総合防災避難訓練を行いました!



8月31日(木)に地震を想定しての避難訓練を行いました。避難訓練の目的は、「生徒の防災意識の向上と緊急地震速報の校内放送を聞いて、身を守る安全な行動がとれるようにする」「非常の震災や火災に対し、生徒の生命・身体の安全を確保し、迅速かつ整然と避難させるとともに自己の役割分担や避難経路を確認する」です。目的を達成するためには、生徒の皆さんが「命を守るための大切な時間なんだ」と真剣に、主体的に、訓練に臨むことが大切です。そしてさらに、職員が事前に役割分担や避難経路の確認等を丁寧に行うこと、が大切になってきます。今回の避難訓練ではこれらを踏まえ、目的が達成できた避難訓練となりました。自分の命を守ることは、他者の命を守ることにつながる。中学生の動きが地域社会を救う。そんな声も生徒から上がりました。

非常の事態において、子どもたちの安全を守るためには、ご家庭や地域の皆様との連携・協力が必要不可欠です。そのために、日頃から情報交換を大切にし、地域一体となって安全教育を進めていけたらと思っています。

「ハマッコトイレ」新設中!

災害用ハマッコトイレ(災害時下水直結式仮設トイレ)の新設工事を本校グラウンドで進めています。災害時に使用するトイレで、高い耐震性、衛生的、バリアフリー設計、高い節水効果、などが特徴です。

連日熱い中、工事を進めています。
ただき、ありがとうございます!

